

地域公共交通網形成計画の取組状況

	事業の内容及び実施主体	実施目標年度	取組の具体的な内容
	1 既存路線の維持と国の事業の積極的な活用（町・地域公共交通会議・バス事業者）		
	(1) 既存路線の継続運行	国のスケジュールに合わせる	・既存路線は継続して運行。
	(2) 地域公共交通確保維持改善事業の活用	国のスケジュールに合わせる	・平成28年度においても地域公共交通確保維持改善事業を活用し、ユニバーサルデザインを考慮したより見やすい充実した公共交通マップに更新。 ・平成28年4月11日付けで申請、4月27日付けで決定通知。補助対象経費517,320円。補助金額は250,000円（対象経費の概ね1/2）。
	(3) 地域公共交通再編事業の活用	必要に応じて	・現時点で再編事業は実施していない。名古屋市営バス延伸の社会実験の調整・実施状況を元に公共交通網形成計画の改訂を視野に活用を検討。
	2 地域公共交通会議の開催（町・地域公共交通会議）		
	(1) 地域公共交通会議の開催	年3回程度	・3回程度開催予定。
人にやさしい安全な交通	3 バスや関連施設の充実		
	(1) バスの安全対策やバリアフリー化（町・バス事業者・施設管理者） ・バス車両の交通安全対策、ヒューマンエラーによる事故防止対策の徹底 ・タウンバス北ルートバス車両や施設のバリアフリー化	随時実施	・あおい交通では指差し確認を励行。名鉄バスでは一般路線バス全車にドライブレコーダーを搭載、左折一旦停止を励行、会議にて交通安全の事例を周知。 ・南北ルートの車両はリフト付。その他、一般路線バスもバリアフリー化済。
	(2) バスの待合環境の整備（町・バス事業者・施設管理者） ・ベンチやバス停の照明施設の整備、公共交通利用案内やサインの充実 ・バスの待合や案内、乗車券の販売など、社会教育センターのターミナルとしての機能強化	28年度～	・ハード的な整備は、長期的な視点で取り組むこととし、平成28年度は情報収集・検討を行う。 ・公共交通マップにQRコード掲載。とよやまタウンバスのバス停にQRコードを表示。 ・社会教育センターのターミナル機能強化については、関係機関と調整・協議を行う。
	4 高齢者等の移動範囲の拡大		
	(1) バス停勢圏の拡大や利便性の向上（町・バス事業者） ・バス路線の充実や道路ネットワークの整備などを通じたバス停勢圏の拡大や利便性の向上	29年度～	・バス停勢圏の狭い75歳以上を主なターゲットとして、バス路線の充実や道路ネットワークの整備などを通じて、バス停勢圏の拡大や利便性の向上について検討する。
	(2) 利用しやすい運賃体系の構築（町・バス事業者） ・利用者の意向や費用対効果を踏まえたわかりやすく利用しやすい運賃体系の構築	30年度～	・利用者の意向や費用対効果を見極めつつ分かりやすく利用しやすい運賃体系を検討する。
	(3) タクシーや移送サービスとの連携（町・タクシー事業者・社会福祉協議会など） ・これまでの施策の継続実施と名古屋交通圏タクシー準特定地域協議会が作成する「準特定地域計画」と連携した取組等、タクシーの特性を活かした輸送サービスや移送サービスの取組検討	29年度～	・町内在住の要介護者・要支援者や障害者等を対象としたタクシー利用料金助成や社会福祉協議会による通院送迎サービスなど既存施策の継続実施。 ・名古屋交通圏タクシー準特定地域協議会が作成した「準特定地域計画」と連携した取組を検討。
	(4) デマンド交通の導入（町・バス事業者・デマンド交通事業者） ・とよやまタウンバスの北ルート周辺地域を中心としたデマンド交通の導入検討	30年度～	・対象となる利用者や需要予測、タクシーや移送サービスをはじめ他の公共交通との役割分担の検討を行い、デマンド交通の最適な運行方式・運行ダイヤについて検討する。
まちの機能や魅力を高める 利便性の高い交通	5 バスの利便性の向上		
	(1) とよやまタウンバス南北ルートの改善や見直し（町・バス事業者・商業施設や医療機関など） ・とよやまタウンバスの南北ルートにおける利用者ニーズに対応した改善や見直し	29年度～	・町民や利用者の意向把握で望む声の多かった鉄道や大型商業施設、医療機関等への乗り入れ、通勤時間帯における増便などを検討する。 ・名古屋市営バス延伸の社会実験の検証結果や利用者ニーズを踏まえ、とよやまタウンバスの南北ルートの改善や見直しを検討する。
	(2) バスの利用環境の改善・充実（町・バス事業者・検索サイト事業者） ・「地域協働推進事業」の取組実施及びQRコードの活用やバスロケーションシステムなど、新たな利用環境の改善・充実の検討	27年度～	・地域公共交通確保維持改善事業を活用し、ユニバーサルデザインを考慮したより見やすい充実した公共交通マップに更新。 ・平成28年度に地方創生加速化交付金により、とよやまタウンバス車内及びバス停にwi-fi環境の整備、バスロケーションシステム導入を実施する予定。
	(3) 新しい乗車サービスの導入（町・バス事業者） ・定期券を始めとした券種や優待制度など、新しい乗車サービスの導入検討 ・とよやまタウンバスを始め町内を運行するバス路線でのIC乗車カードの検討	30年度～	・名鉄バス、名古屋市営バスにおいてIC乗車カードは既に導入済。

	事業の内容及び実施主体	実施目標年度	取組の具体的な内容
利便性の高い交通 まちの機能や魅力を高める	6 産業活動や地域間交流を支える交通環境の整備		
	(1) MR J 関連の通勤者や見学者のアクセス確保 (町・バス事業者) ・とよやまタウンバス、名鉄バス、あおい交通の連携・協力したバス路線の充実 ・北部市場まで乗り入れている名古屋市営バスの延伸等についての要請	27年度～	・平成27年7月31日に名鉄バス、8月5日にあおい交通へ、県営名古屋空港への公共交通アクセスの強化・拡充に関する要望申入れ。 ・平成27年7月29日に名古屋市交通局へ県営名古屋空港への公共交通アクセスの強化・拡充に関する要望申入れ。平成29年3月に北部市場～名古屋空港まで延伸運行社会実験予定。
	(2) 近接市町のバス路線との連携 (町・近接市町・バス事業者) ・きたバス (北名古屋市)、こまき巡回バス (小牧市)、かすがいシティバス (春日井市) 等との連携に向け、各バス路線の情報提供やPR、ダイヤ調整や待合所の整備、乗り継ぎ割引などの検討	30年度～	・町ホームページからこまき巡回バス (小牧市) へのリンクを完了。きたバス、かすがいシティバスへのリンクを作成中。
環境にやさしい交通	7 クルマに過度に依存しない交通行動の促進		
	(1) 公共交通マップ等の作成・配布 (町・地域公共交通会議・町民討議会議) ・住民や利用者等の意見を踏まえ、よりわかりやすい公共交通マップを作成し、公共交通のPRとして町民や本町への通勤者、新規転入者などに配布 ・地域公共交通会議や町民討議会議などの構成員の協力を得て、公共交通を利用したお出かけプランを提案、町民が公共交通を使っていきたいと思う働き掛け	随時実施	・地域公共交通確保維持改善事業を活用し、ユニバーサルデザインを考慮したより見やすい充実した公共交通マップに更新。 ・お出かけプランについては、本町へのアクセス方法やウォーキングマップなどの情報が盛り込まれた「見どころマップ」を作成済み。
	(2) バスの乗り方教室や出前講座等の開催 (町・地域公共交通会議・町民討議会議) ・高齢者や主婦、子ども、地域団体などを対象とした「バスの乗り方教室」や出前講座の開催、環境にやさしい公共交通やバスの利用促進、町民討議会議などを活用した公共交通やバスに関する意見交換	随時実施	・教育委員会が所管する「出前講座」のメニューに、引き続き「公共交通機関の使い方」を登録し、申込のあったグループに対し、公共交通やバス利用について、PRを行う。 ・その他高齢者や主婦、子どもが集まるあらゆる場を捉えて公共交通についてPRを行う。 ・平成28年5月12日に豊山町心身障害者福祉協会の会員およそ30人を対象に出前講座「公共交通機関の使い方」を開催。
	(3) 利用促進イベントやキャンペーンの実施 (町・地域公共交通会議・町民討議会議) ・環境フェスティバルや健康福祉フェスティバル、交通安全教室など既存のイベントやキャンペーンと連携したバスを中心とする公共交通の利用促進	随時実施	・環境フェスティバルや健康福祉フェスティバル、交通安全教室など既存のイベントやキャンペーンにおいて公共交通をPR。可能であれば「バスの乗り方教室」を開催。
	(4) 広報誌やホームページ等による公共交通のPR (町) ・「広報とよやま」や「とよやまチャンネル」にバスをPRする記事やコーナーを設け、バスや公共交通に対する町民の意識啓発と利用促進の実施 ・町のホームページにおける公共交通関連情報の充実、スマートフォン版の作成	随時実施	・広報とよやまや町ホームページにて名古屋市営バス延伸の社会実験の周知を行うとともに公共交通のPR記事を掲載予定。 ・ホームページ (スマートフォン版含む) での公共交通関連情報を更新。
	8 自転車・徒歩で移動できる交通環境の整備		
	(1) 安全で魅力的な自転車・歩行空間の整備 (町) ・自転車道や緑道・散策路などの整備、自転車マップやお出かけマップなどの作成の検討、レンタサイクルの導入検討	27年度～	・「見どころマップ」を平成27年度に作成済み。 ・自転車道や緑道・散策路などの整備、レンタサイクルの導入については、長期的な課題とし、情報収集・検討を行う。
(2) バスと自転車との乗り継ぎ環境の整備 (町) ・主なバス停周辺に自転車駐車を整備、自転車や徒歩からバスに乗り継ぐための有用な情報提供	28年度～	・自転車駐車場の整備は、長期的な課題とし、情報収集・検討を行う。 ・「見どころマップ」を関係機関・住民に配布・PRすることにより、バス・自転車利用の促進を図る。	